



ポプラと風

服部サテライトのオープンで在宅生活をいっそう支援します！ ポプラ訪問看護ステーション



訪問看護とは

病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師が生活の場へ訪問し看護ケアを提供する、療養生活を支援するためのサービスです。専門の看護師等が利用者のご家庭を訪問し、在宅での療養生活が送れるように支援します。併せて、さまざまな在宅サービスの使い方を提案します。

訪問看護ステーションのサービス内容

- 療養上のお世話
- ターミナルケア
- 病状の観察
- 在宅でのリハビリテーション
- 医師の指示による医療処置
- 介護予防
- 医療機器の管理
- 認知症ケア
- 床ずれ予防・処置
- ご家族等への介護支援・相談

お問い合わせ・お申し込み

ポプラ訪問看護ステーション株式会社 在宅部門事務所
電話 (06)6151-5165 FAX (06)6151-5167

〒561-0851 豊中市服部元町 2-6-7 (シニアスクールポプラ服部天神 3階)

営業時間

月～土曜日 9時00分～18時00分

サービス提供時間 9時00分～17時00分

休業日 日曜・祝日及び12月30日～1月3日



ポプラ訪問看護ステーション 所属
理学療法士 山本 陽介

—とことんその方の生活に関わっていくことが醍醐味—



訪問リハビリテーションというサービスについて教えてください

病院でのリハビリテーションでもご本人の生活を想定しながら方針を立て運動を行うのですが、実際家に帰ると、その方の癖であったり生活スタイルなど、想定していたことと違っていることが多い。そこで、私たちがお宅に伺うことで生活の中の本物の困りごとを評価し、身体の機能を回復するための運動だけでなく、暮らし方なども含めてアプローチすることで、元の社会生活に戻るお手伝いをするのだと考えています。

また、ご高齢だったり重度で寝たきりの方であっても、食事する時は椅子に座って家族とテーブルを囲むなど、家庭での役割を果たせるようにすることも訪問リハビリテーションだと考えています。

今後の展望をお聞かせください

地域に根差す訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションを提供できる場にしていきたい。そのために、各地域のケアマネジャーをはじめ、地域包括支援センターや行政とも関わりながら、池田市・豊中市・箕面市で、どこが訪問リハビリテーションをしていると聞かれば「ポプラ。あそこはいろんな関わりをしてくれる」と言っていたら、選んでもらえるステーションにしていきたいと思っています。



INFORMATION



主な講師
橋本 智子
ポプラフィットネス部門
NKK「きょうの健康」出演講師
健康運動指導士
秋山 雅美
健康運動指導士
松島 幸子
ウェルネスインストラクター

池田市保健福祉総合センター教室

池田市城南 3-1-40 3F 健康教室、または 4F 大会議室
毎週火曜日 13:30～15:00 参加費 500円/回

姫室室町会館教室 (若干名)

池田市姫室町 3-1 姫室室町会館 2F 和室
毎週水曜日 10:30～11:45 参加費 500円/回

特養ポプラ内 東山教室

池田市東山町 555-1 4 階大会議室
第1・3 木曜日 13:30～15:00 参加費 500円/回

きたてしまプラザ教室

池田市豊島北 2 丁目 2-18 きたてしまプラザ 大会議室
第2・4 金曜日 10:30～12:00 参加費 500円/回

お申込み
お問合せ TEL.090-3870-9540 FAX.072-752-7528 担当 橋本

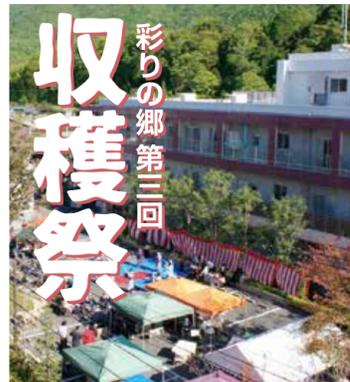
特別養護老人ホームポプラの制服がリニューアル!



10月1日より採用の新しい制服は、サイドにたくさんのポケットを配した機能的なデザイン。加えて、フロアや職種によって色を分けるなど、入居者様はもとより、ご来苑される家族様へのサービスの向上を目指したりリニューアルとなっています。

編集後記

特養の職員と話をしていた時のこと。日本人職員が外国人職員自身に、介護の専門用語や漢字など、意思疎通がスムーズにいかないこともある状況下でも業務を遂行してもらい、一緒に生活者の日々を支えていることを評価したいとの話がありました。その時ふと、それって介護の基本なのでは…と、思いました。各人の能力を把握し、できることは自分ですら「自立支援」という介護の考え方。そのための地力アップに役立っているはず。そしてそれが、国籍や性別、年齢を超えた共生の介護へと繋がっていくのではないかと思います。 本部 青山



■日時
2019年11月2日(土)
11:00～15:00

■会場
特別養護老人ホームポプラ
正面駐車場 彩りの郷

■主な催し
オペラコンサート
ポプラ産サツマイモの焼き芋
手打ちそば販売・野菜販売

※催しは天候等の理由により変更になる場合がございます。

寄り添いと感動の トータル介護 **ポプラ** お年寄りには **元気を** ご家族様には **安心を**

POPLAR EFFORT

介護のポプラ お客様相談窓口

ご相談・見学のご予約、資料請求の問い合わせは…

0120-914-810

編集責任者：大橋 薫
発行所：社会福祉法人 池田さつき会
〒563-0012 大阪府池田市東山町 555-1
(代) TEL.072-754-0705

ポプラ訪問看護ステーション
デイサービスセンターポプラ東山
デイサービスセンターポプラ北摂
デイサービスセンターポプラ箕面
デイサービスセンターポプラ神田南
デイサービスセンターポプラ豊中
デイサービスセンターポプラ鉢塚
デイサービスセンターポプラ箕面半町
デイサービスセンターポプラ夫池
デイサービスセンターポプラ刀根山
シニアスクールポプラ服部天神
シニアカレッジポプラ箕面船場
デイサービスセンターポプラ光風台

ケアプランセンターポプラ池田
ケアプランセンターポプラ北摂
ケアプランセンターポプラ箕面
ケアプランセンターポプラ刀根山
ケアプランセンターポプラ豊中
ケアプランセンターポプラ豊中庄内
訪問介護ステーションポプラ池田
訪問介護ステーションポプラ箕面半町
ショートステイポプラ東山
ショートステイポプラ夫池
グループホームポプラ東山
グループホームポプラ神田

グループホームポプラ豊中南
シュールメゾンポプラ東山
シュールメゾンポプラ東ときわ台
シュールメゾンポプラ鉢塚
シュールメゾンポプラ神田
シュールメゾンポプラ北豊高
レリーサポプラ箕面船場
レリーサポプラ春日
シュールメゾンポプラ千里園
シュールメゾンポプラ三和町
介護付有料老人ホームレリーサポプラ
特別養護老人ホームポプラ

4月スタート!



ポプラ日本語学園ネパール校

今年4月に発表された特定技能制度。決められた14職種において、海外人材に日本で就労してもらうための仕組みです。ネパールでは第一弾として秋に介護分野での特定技能テストの実施が発表され、現地では大きな話題になっています。ポプラ日本語学園ネパール校では、介護での就労を目指す学生60名が合格に向けて介護技術と日本語の習得に余念がありません。介護で報酬を得るといった概念がほとんどないネパールですが、大家族制度で祖父母と同居してきた経験を頼りに日本の介護職を目指して猛勉強中です。「日本で就労したい!」彼らの夢の大応援団として私たちも実現に向けてサポートしてまいります。



ポプラのネパール人介護福祉士第1号



好きな日本食は
お好み焼き
たそいです

タマン・サンデヤ

学校が終わってフルタイムで働けるようになったので、ユニットのみんなと、もっとたくさん介護の仕事にチャレンジしていきたいです。

9月のICW



9月のICW (International Care Worker) 研修は、当グループ外国人介護福祉士第一号のマリセルが、後輩スタッフに指導をおこないました。内容は、家族様への電話のかけ方。「丁寧語を使う」や「内容を予め要約し通話時間をコンパクトに」といった、ビジネスとしての電話のかけ方を、自身の経験も踏まえたコツも併せて指導していました。今回はテレビの取材も入り、研修後にはインタビューにも答えていました。

9月スタート!



ポプラ国際研修センター

9月、外国人技能実習生が日本で生活を始めるにあたって学ぶための「入国後講習機関」として、ポプラ国際研修センターが始動いたしました。場所は2015年廃校となった旧伏尾台小学校2階の4教室。かつての学び舎をリノベーションした高台の緑豊かな環境で、日本語、日本文化、ゴミ出しや交通機関の利用法といった生活ルールなど広範囲にわたる科目の理解に懸命です。勉強の合間にはサッカーやバドミントンでストレス解消。

この恵まれた伏尾台で1か月間、日本での、そして日本人との「はじめの歩」を踏み出す彼らを、楽しく、そして時に厳しく指導。それぞれの職場に送り出します。



デイサービスセンターポプラ夫婦池



シニアカレッジポプラ箕面船場



レリーサポプラ



シニアカレッジポプラ箕面船場



レリーサポプラ春日



デイサービスセンターポプラ豊中南



シニアスクールポプラ服部天神



レリーサポプラ春日



デイサービスセンターポプラ夫婦池



レリーサポプラ

ポプラ 9月の祭



シニアカレッジポプラ箕面船場



シニアスクールポプラ服部天神



特賞



デイサービスセンターポプラ夫婦池



デイサービスセンターポプラ東山

新卒者6か月研修



今年4月に入職した15期生の入職後半年研修を実施しました。午前中は、介護保険制度の復習として、事例をもとに訪問介護の計画をグループワークで作成。午後はそれぞれ半年の現場業務について全員の前で発表したり、介護保険制度以前の介護の実態を学ぶことで、半年経った今の自分たちの介護を振り返り、今後の働き方について考えました。

階層別個別研修



ポプラコーポレーションでは今期から、全職員に対して研修を実施しています。内容は、アンガーマネジメントやクレーム対応の事例検討など、勤務年数や職位ごと個別に設定して実施。施設を横断して同等階層の職員と受講することで、各自が改めて自分自身の課題を認識しています。これらを全職員が実施することで、介護の質の全体的な向上を目指しています。

認知症研修



マックスールスクールの平野先生を講師に迎え、今年4月から始まった「認知症研修」もいよいよ9月で最終回。スタッフの認知症に対する理解を深め、ケアの質の向上を目的としておこなってきました。今回受講したスタッフは、学びながら自分自身へも「視点を変える」ことで仕事への認識と行動を変えることができ、変化と手ごたえを感じている様子でした。10月からは応用編の研修がスタートします!



ふれあい食事会

ポプラ東山

9月8日、池田市東山町で11回目となるふれあい食事会を開催。今回も定員いっぱい約100名の方にご参加いただきました。今回、ポプラ設立以来、歌や舞踊で行事のボランティアにご尽力いただいた3団体の方を表彰させていただきました。昼食は季節の野菜を使った和食。夏野菜のつぶらや、蛙の形に切ったキュウリなど季節を感じるメニューをご用意いたしました。食後は恒例の豪華景品争奪!じゃんけん大会など、地域の皆様と共に、おいしく楽しいひと時となりました。

地域共生への取り組み

認知症サポーター養成講座 『とよなかオレンジフェア』



9月20日とよなかオレンジフェアにてケアプランセンターポプラ豊中庄内の平高管理者が、他法人のケアマネジャーや地域包括支援センターのソーシャルワーカーと共に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。施設での実体験を多く取り入れて話しをしたり、4コマ漫画にアテレコをしたりと、できるだけ楽しみながら認知症を理解してもらえるように努めました。受講された方々は深く頷いたりメモをとるなど熱心に聞いておられました。